

ZANDEN Model 120 の展開(85)  
ーベートーヴェンを聴き直す(20)ー

1. 始めに

前報(84)に引き続き、これまで聴いてきたベートーヴェンの盤を聴き直していきます。

2. Model 120 設定条件の試聴方法

カートリッジは、My Sonic Signature Gold で、接続に関しては、ZANDEN Model 120 の活用(33)同様、下記のとおりとします。すなわち、アンバランス/バランス変換プラグを用いて BACU-2000 経由で Model120 にバランス入力し、アンプは Langivin 6V6pp を使用しています。

今回も P&G のフェーダーに替えてパッシブアテネーターの TruPhase を使用し、RCA 入力→RCA 出力とします。なお、AACU-1000 は TruPhase の入力側と出力側にセットします。

LINN LP-12→(フォノケーブル)→(アンバランス/バランス変換プラグ)→(BACU-2000) →Model120(バランス入力端子→アンバランス出力端子)→(アンバランスケーブル)→(AACU-1000)→TruPhase→(AACU-1000)→(アンバランスケーブル)→Langevin 6V6pp

なお、LINN LP-12 の再構成(22)で報告しましたように LP-12 の電源を交換し、外付けとしています。また、LP-12 の軸受けをカルーセルに更新しています。

音源としては、これまで聴いてきたベートーヴェンの盤から選んでいきます。

今回は、ベートーヴェンの荘厳ミサ曲 Op.123 を選定しました。

ドイツグラモフォン SLGM1370/71

ベートーヴェン

荘厳ミサ曲 Op.123

【演奏】

グンドウラ・ヤノヴィッツ(ソプラノ)

クリスタ・ルートヴィヒ(アルト)

フリッツ・ヴンダーリヒ(テノール)

ワルター・ベリー(バリトン)

ヘルベルト・フォン・カラヤン(指揮)

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

ウィーン楽友協会合唱団

上記は下記で報告しています。

[アナログ再構成後の活用\(2\)](#)

### 3. Model 120 設定条件の試聴結果

Model 120 の設定は、ZANDEN 社から提供されたリストを参考にして選択していきます。

TELDEC、逆相、第4時定数 Mid で聴いていきます。

荘厳ミサ曲と銘打つだけあって、ベートーヴェンが宗教曲を手掛ければ、このような曲になるというもので、教会録音での残響が豊かに響き、カラヤンらしい壮大な構成になっています。ヤノヴィツその他のソリストの歌唱やソロ楽器も位置関係が明瞭で、受け渡しの様子がはっきり分かりますし、オーケストラと合唱および合唱の各パート間の位置関係や分離も種々の対策をとってきた結果として十分に納得のいく再生ができるようになりました。

### 4. まとめ

これまでの試聴同様、前報(24)で報告しましたように ZANDEN Model 120 の導入などの効果があって、これまで再生が難しかった、このような大曲の演奏のニュアンスがよく表現できるようになりました。

以上